

## もうすぐ運動会

園長 原田健次

10月に入りやっと秋らしい過ごしやすい気候となりましたが、日中の日差しはまだまだ厳しいものがあります。今年の運動会は1ヶ月日程をずらし今月末に開催されます。

持子保育園の運動会は、3歳児クラスからの参加です。他園では0歳児からの参加としているところもありますが、乳児期には、すべての子どもが同じように獲得すべき「育ちの課題」があります。一番大切な睡眠・食事・運動という生活リズムが安定し確立することをねらいとし、一人ひとりの特徴や個性を大切に保育をすすめているこの時期の参加は早いと考えています。

私たちは、運動会を一日の楽しいイベントとして捉えるのではなく、日頃の保育の積み重ねとして捉えています。すなわち、保育の一環として行われるものと考えています。

運動会の練習となると子ども達にかける言葉は「がんばれ、がんばれ」や「ちゃんと応援して」など励ましや行動を急がせたり、奮起させるようなかわりになってしまい、保育者の思いが先走り、子どものこころを置き去りにし、子ども主体の取り組みがなされていないことがよくあります。応援すること、勝ちたいこと、演技が上手になってお家の人に見てもらいたいこと等、子どもたちの思いが大切です。

私たちは運動会当日の「競技」「演技」の出来栄を優先するのではなく、子どもが主体的に取り組む過程(プロセス)を大切に「保育」を行っていけるよう努力しています。



### 【すみれ組の取り組み】

リズムダンスでは子どもが表現しやすい曲を選び、振りをつけて楽しんでいます。音楽に合わせてリズムをとりながら体を動かす楽しさを感じて踊っていましたが、いざ人前となると何か急に動きが小さくなったり恥ずかしくなり動きが止まってしまうこともあります。上手く踊ることが目的ではなく楽しんで踊る経験になってほしいと思っています。

3歳児のかけっこは勝敗をつけません。勝ち負けについては個人の育ちの違いがあるのが3歳児です。自己発揮に満足する子や勝ち負けにこだわる子など、一人ひとりの育ちの違いを受け止めることができるよう担任が両手を広げてゴールで待っています。

初めての運動会。恥ずかしくて固まってしまうことも予想されます。「みる」ことも参加の一つ。無理に参加させるのではなく、その子なりのありのままの姿を受け入れたいと思っています。

### 【きく組の取り組み】

4歳児きくぐみ。先生と一緒に楽しむという経験から自分たちだけで力を合わせて頑張る経験をしています。

親子体操で一緒に楽しく遊んだパラバルーンは運動会では子ども達だけで演技をする予定です。子ども達は運動会の取り組みを通して、楽しい「遊び」からちょっと練習しなければいけない「演技」にかわるという経験をしています。自分の好きな遊びを楽しむことと、みんなと力を合わせて練習することの違いをきちんと感じ、上手になるため、お家の人が一番かっこいいところを見

てもらいたいという気持ちを育みながら取り組んでいければと思っています。

競技は「勝つこと」「負けること」を経験する過程では、負けると泣いたり、勝つことだけに執着してしまう時期があります。悔し涙が出るのは本気で取り組んだことですが、負けていても途中でやめないこと、ルール間違えをしてもやり直したら順位がもらえること、また頑張っている仲間を応援したいといった「心」を育みたいと思っています。

#### 【うめ組の取り組み】

5歳児うめぐみ。保育園最後の運動会。昨年は力を合わせることの大切さを経験しました。今年是一人ひとりの違いを活かした力合わせを経験しています。世間では「組立て体操は危険だからだへの負担が大き過ぎると行わない園が増えています。私たちが考える幼児期に行う組み立て体操は、「一人で一人の体重を支えない」「背骨の上に乗るのではなく負担のかからない場所に足を置く」といった安全に配慮し行っています。また、大人が「あなたは上に乗る人」、「あなたは土台」というように役割を決めるのではなく、グループ内でいろいろな役割を何度も経験し、自分たちが納得のできる役割を決めて取り組んでいきたいと思っています。

リレー競走では「アンカーやりたい」や「一番目に走りたい」といった自己主張のぶつかり合いから、「チームのために勝つにはどうしたらいいか」などといった目標を共有することを経験しています。今後は相手チームに対して一生懸命がんばったという相手チームに対するリスペクト(敬意を持つ気持ち)や思いやる気持ちを育むことができるような取り組みを行っていききたいと思っています。

自己主張から仲間同士でトラブルが起こることがあります。喧嘩やトラブルは起こって欲しくないと思いがちですが、実はこのトラブルが子どもの心の成長には不可欠と考えています。保育者の関わり方には十分な配慮は要りますが「自分たちで問題を立て直そうとしている姿」をみると、保育者としての喜びを感じます。



また、今年の運動会はそれぞれ親子競技を実施する予定です。内容は事前にお知らせしますので、どうぞ楽しんでいただければ幸いです。

運動会当日は子どものいろいろな姿がみられると思いますが、大切なのはその子なりのがんばる気持ちや、やる気です。どうぞ温かい拍手とご声援をよろしくお願いします。